岩盤ボーリング柱状図

調査名　主要地方道 東城西城線 測量設計地質調査業務委託（道路改良・単独）

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	B-4	調査位置	広島県庄原市東城町保田	北緯	34° 55′ 48.2876″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和5年 8月26日～ 令和5年 8月30日	東経	133° 10′ 40.4717″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 566.93m	角度	180° 上 90° 下 0° 90°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	6.00m	地盤勾配	17° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO / エンジン：ヤンマーNFD10 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分
	566.93	0.50		黒ぼく	黒褐						
1			Do	石英斑岩	黄灰褐～黄赤灰褐	w5	h4	E	Ⅶ Ⅵ	d	D
2	566.93	2.30									D DH CL
3				輝緑岩	褐緑灰～暗緑	w3	h3	D	Ⅳ Ⅲ	c	
4			Do			w2	h2	B	Ⅱ	b	CM
5											
6	566.93	6.00									
7											
8											
9											
10											
11											

コア採取率 ―×― (%)　最大コア長 ―●― cm　RQD ―― [%]

記事

- 有機質な粘性土。
- 0.5～1.0mは砂質粘土状。1.0～1.7mは微細砂～砂質土状。岩級はDL級。1.7～2.0mは礫混じり砂質土状。岩級はDL級。2.0～2.9mは礫混じり砂質土状。岩級はDH級。
- 2.3～2.9mは亀裂が多く、ハンマー軽打で礫状に割れる。2.3～2.4mはDH級。2.9mまでCL級。2.9m以深は短柱状～柱状を呈するが、高角度な亀裂が多く、潜在亀裂が多くみられる。
- 岩片は非常に硬質で、ハンマーで金属音を発する。コア肌は概ね滑らか。部分的に亀裂が多く、亀裂面は淡褐色を呈する。居部的に風化した石英斑岩脈が貫入している。

孔内水位／測定月日

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
10	1.15	10		
	1.45	300		
50以上	2.15	50	210	
	2.38	210		
50以上	3.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
8/26	600	86	8/6 打込みによる	0	0	0	W10	0
	310							
8/28	41	8/6 ケーシング	ダブルコアチューブ	75	225	0	W56	4
				200	225	0	W58	5
8/29	44	66		150	225	0	W59	8
						0	W59	0